

社会指標分析報告書 (概要)

次期総合管理計画策定に係る検討における基礎資料とするため社会指標分析を行いました

社会指標分析とは

■社会指標分析の目的及び概要

市の各種社会指標（人口、経済・産業、医療・福祉等）の状況を整理することで、本市の強みや課題等を把握・分析し、次期総合計画策定に係る検討において活用する基礎資料とします

【出所】 国、府及びその他公的機関等が公表するデータ

例：国勢調査結果、大阪府統計年鑑、地域医療情報システムの地域別統計 等

■本資料の意義

社会指標分析報告書の内容を要約しとりまとめたうえで、SWOT分析により分析を実施することで今後の施策の方向性を検討するための参考資料とします

社会指標分析報告書の内容を要約すると下記のとおりとなります

項目別分析 (1/2)



人口

自然減・社会減が続いているため、関係人口づくりなど対策を検討する必要がある

- 人口減少及び少子化・高齢化が進行している
- 典型的な家族構成である「夫婦と子ども世帯」の割合が減少し、「単独世帯」の割合が増加している
- 出生数の減少等による自然減が続いているとともに、社会減も続いている



生活行動

依然としてベッドタウンであり、昼夜間人口に差がある

- 通勤・通学等で市外に流出する人口が市内に流入する人口より多い
- 市内各駅の乗降客数は減少傾向にある
- 人口あたり婚姻件数及び離婚件数は周辺団体より多い



経済・産業

商店や事業所の数は減少傾向にあり、市内外からの消費を促す必要がある

- 小売業の商店数・従業者数は平成14年度から約4割減少しているものの、年間商品販売額は約2割の減少に抑えられている
- 製造業の事業所数・従業者数は減少傾向となっており、周辺団体の平均を下回っている
- 完全失業率は平成22年度頃をピークに減少が続いている



土地・住宅

空き家問題への対策など可住地区の確保を進める必要がある

- これまでは民営借家の割合が減少し持ち家の割合が増加していたが、令和2年には民営借家が増加し持ち家が減少した
- 新設住宅着工の状況は、戸数・面積ともに平成26年度をピークに減少が続いている
- 空き家率は緩やかな増加が続いている

社会指標分析報告書の内容を要約すると下記のとおりとなります

項目別分析 (2/2)



環境・衛生

二酸化炭素排出量は削減が進んでいるものの、依然として取り組みを進める必要がある

- 周辺団体と比較すると、人口あたりごみ排出量は多く、ごみのリサイクル率は低い
- 二酸化炭素排出量は直近5年間で約24%削減されたと推計されている



子育て・教育

保育ニーズが高まっている

- 幼稚園の在園者数は減少傾向にある一方、保育所等の利用児童数は増加傾向にある
- 幼保連携型認定こども園の在園者数・施設数が増加傾向にある
- 小学校の児童数は減少傾向・教員数は増加傾向にあるが、中学校では生徒数・教員数ともに概ね横ばいで推移している



医療・福祉

診療所等の医療機関が充実している

- 人口当たり医療機関（病院及び診療所等）数は周辺団体の平均を大きく上回っている
- 一人当たり医療費は増加を続けており、平成28年度以降は全国平均を上回り続けている
- 要介護認定率は大阪府平均では増加が続いている一方、市では減少が続いている



行財政

財政運営では改善がみられるものの、今後も改善を続ける努力が必要である

- 経常収支比率は令和2年度には100%を下回るなど改善が続いている
- 実質公債費比率は緩やかな減少が続いており改善がみられる
- 財政力指数は概ね周辺都市平均と同様の水準で推移している

藤井寺市を取り巻く状況をSWOT分析により整理します

【参考】SWOT分析の結果

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>強み (Strength)</p> <ul style="list-style-type: none">世界文化遺産百舌鳥・古市古墳群など歴史資源が豊富商店数が多い医療機関が身近に存在幹線道路や鉄道3駅などの交通網が充実市域がコンパクト	<p>弱み (Weakness)</p> <ul style="list-style-type: none">人口減少が進行少子化・高齢化が進行昼間人口比率が低く、地域の担い手が減少夫婦＋子世帯が減少し単独世帯が増加空き家率が増加傾向ごみのリサイクル率が低い財政運営改善の継続が必要
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none">2025年大阪・関西万博の開催情報化・デジタル化が進展国際化・グローバル化が進展人生100年時代へと転換ダイバーシティが浸透女性の活躍が推進	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none">新型コロナウイルス感染症が蔓延地球環境問題が深刻化実質賃金が低迷予期できない海外情勢リスクが存在浸水等自然災害リスクが存在

【参考】SWOT分析により把握した強み・弱み・機会・脅威を掛け合わせて、今後の施策の方向性を検討するにあたっての参考とすることが可能です

【参考】クロスSWOT分析の結果

